

第7回 The 7th Japanese Association of
Re-work for Depression Annual Convention

日本うつ病リワーク協会 年次大会 愛知大会

企業から求められる
リワークの在り方

プログラム
・
抄録集

会期 2024年4月13日(土)・14日(日)

会場 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目4-38

大会長 舟橋 利彦

医療法人 明心会 ルーセントジェイズクリニック 理事長

第7回 日本うつ病リワーク協会 年次大会 愛知大会

The 7th Japanese Association of Re-work for Depression Annual Convention

プログラム・抄録集

企業から求められる リワークの在り方

会期 **2024年 4月13日(土)・14日(日)**

会場 **ウインクあいち(愛知県産業労働センター)**

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目4-38

大会長 **舟橋 利彦**

医療法人 明心会 ルーセントジェイズクリニック 理事長

主催 **一般社団法人 日本うつ病リワーク協会**

INDEX

ご挨拶	1
交通のご案内	2
会場案内	3
参加者へのご案内	5
発表者へのご案内	7
日程表	10
プログラム	12
抄録	
特別講演	25
招待講演	27
教育講演1～4	29
協会講演	37
シンポジウム1～6	39
LMM企業シンポジウム	65
編集情報委員会企画シンポジウム	67
地域連携委員会企画シンポジウム	73
研修委員会企画シンポジウム	77
施設認定委員会企画シンポジウム	79
ランチョンセミナー1～6	81
共催セミナー1～3	93
一般演題1～4	99
集団精神療法ワークショップ	123
共催・協賛企業一覧	126

第7回日本うつ病リワーク協会 年次大会

ご 挨拶

大会長 舟橋 利彦

医療法人明心会

ルーセントジェイズクリニック

理事長

第7回日本うつ病リワーク協会年次大会を2024年4月13日(土)・14日(日)の2日間開催いたします。謹んで、大会長としてご挨拶申し上げます。

医療法人明心会は、1988年、豊田市に仁大病院を開設したことから始まりました。猿投山麓にあり、デイケアを開設するには交通の便が悪いため1995年、豊田市駅前に仁大駅前クリニック(2022年 上豊田こころの絆クリニックに移行)を新設しました。この時、笠原嘉先生から、『うつ病のデイケアを作りなさい』と言われたことがずっと記憶の片隅にありました。

2004年、管理医をしているトヨタ自動車から、名古屋駅前に新しくビルを作り、そこのクリニックモールに精神科を入れたいとの話があり、2007年にルーセントジェイズクリニックを開設し、併せて医療リワークを併設しました。また、医療法人とは別に、EAP機能を持つ有限会社ジェイズ・パシフィック ルーセントメンタルヘルスマネジメント(LMM)も開設しました。それまで、個人として多くの企業の産業医をお引き受けしていましたが、その要望に答え切れなくなり、LMMを窓口として当法人の日本医師会認定産業医の有資格者が新たに参画して、企業への対応を担っています。愛知県はものづくりが盛んであり、必然的に医療リワークの必要性が高い、という背景があります。

2008年に発足したうつ病リワーク研究会は、2018年2月には新しく一般社団法人日本うつ病リワーク協会として生まれ変わり、リワークという治療形態を進歩させ、実施する医療機関の増加に伴って発展を続けて来ました。会員医療機関は300機関を超え、会員数は1,000人を超えております。

当協会は、リワークの治療レベルをさらに高め、医療リワークが積極的に企業・患者から選ばれるようにしていくことを目指して参りましたが、それぞれの企業の望んでいる内容、目的はどんなものなのか、何が医療リワークに求められているのかを明らかにすべき時期になっているのではないのか、と考えます。加えて、日本の各地域の医療リワークへの必要性の違いはあるのか、どうなのか、改めて確認する作業が必要ではないかとも思い、今大会のテーマを『企業から求められるリワークの在り方』、と致しました。

愛知県、名古屋市は、関東圏、関西圏からのアクセスが良く、空港もセントレア空港、愛知県営空港と、遠方からの利便性に優れています。2022年にはジブリパークが開園され、新たにスタートアップ企業の拠点も作られました。

最近是全国区になった名古屋めしもお楽しみ頂けます。第7回大会へ、是非ご参加いただきますよう、お願いいたします。

交通のご案内

ウインクあいち (愛知県産業労働センター)

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

TEL : 052-571-6131 (受付時間 : 9:00 ~ 20:00)

アクセス詳細⇒ <https://www.winc-aichi.jp/access/>

◎電車をご利用の場合

(JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より

- JR名古屋駅桜通口から : ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
- ユニモール地下街5番出口から : 徒歩2分
- 名駅地下街サンロードから : ミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを經由 徒歩8分
- JR新幹線口から : 徒歩9分

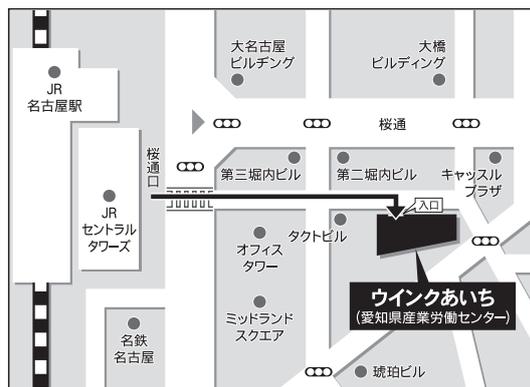
◎JR(東海道新幹線)をご利用の場合

- 東京駅から : 約97分
- 新大阪駅から : 約51分

名古屋地下からのアクセス



名古屋地上からのアクセス



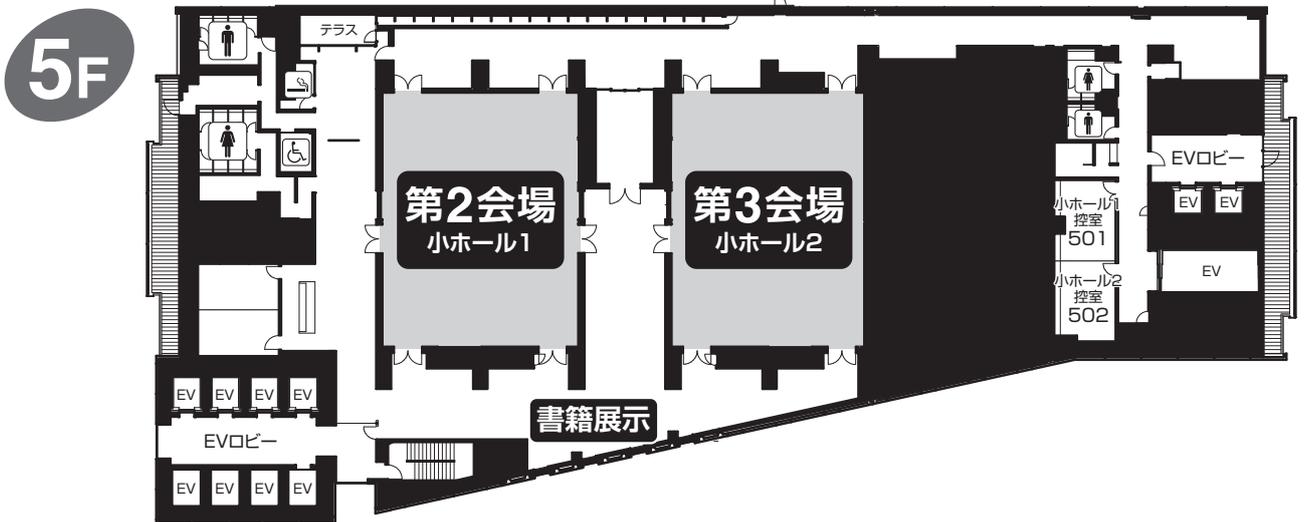
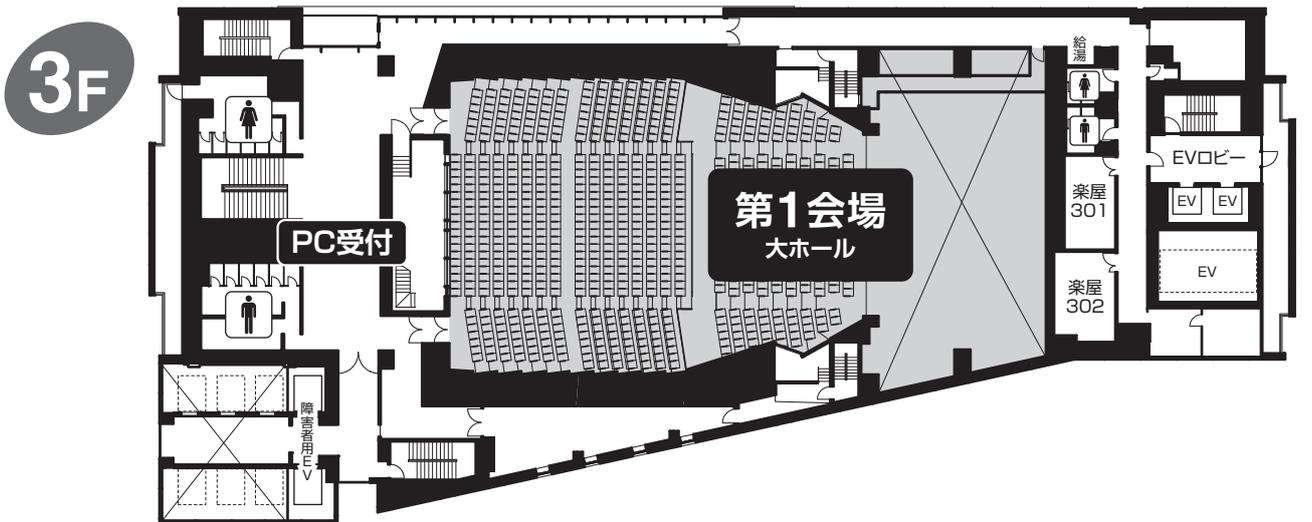
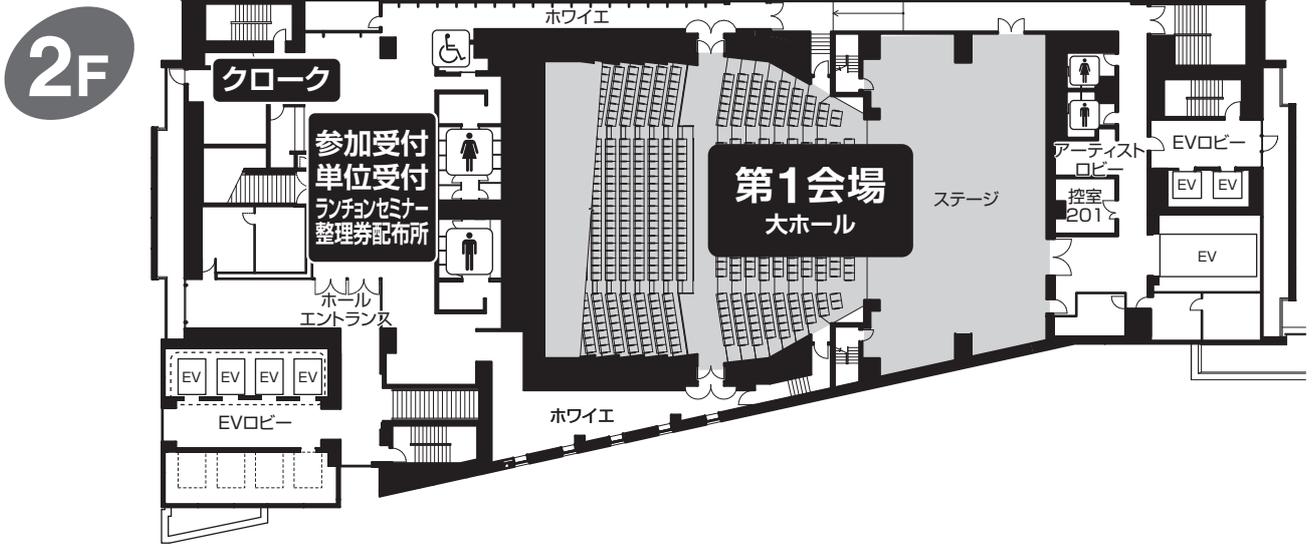
※名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを經由すると雨に濡れずにアクセスできます。

※車椅子をご利用のお客様へ：名古屋駅から地下通路を通して来館される場合には、途中スロープのない階段がございますので通行いただけません。地上から来館ください。

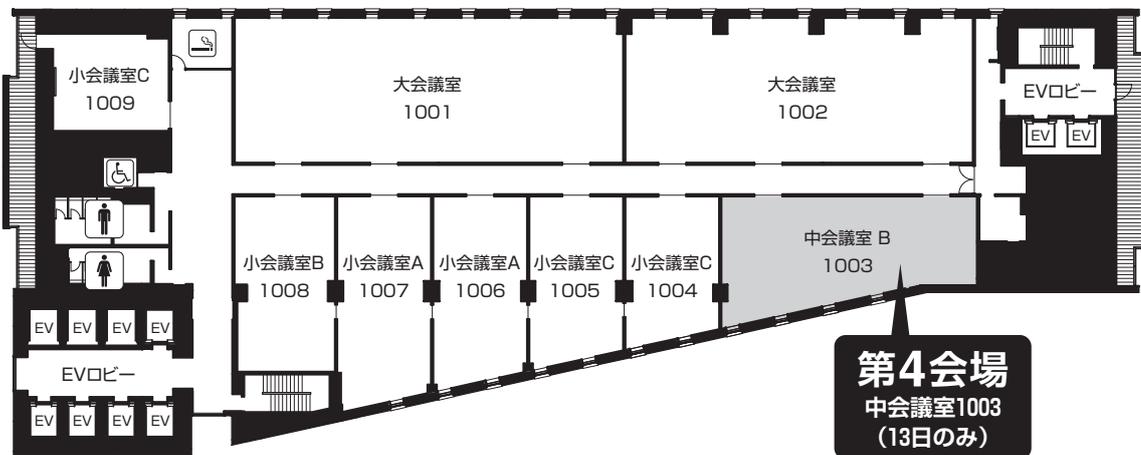
◎飛行機をご利用の場合

- 中部国際空港(セントレア)から : 約30分(名鉄空港特急利用、名鉄名古屋駅まで)
- 県営名古屋空港から : 約20分(高速バス利用、ミッドランドスクエア前バス停まで)

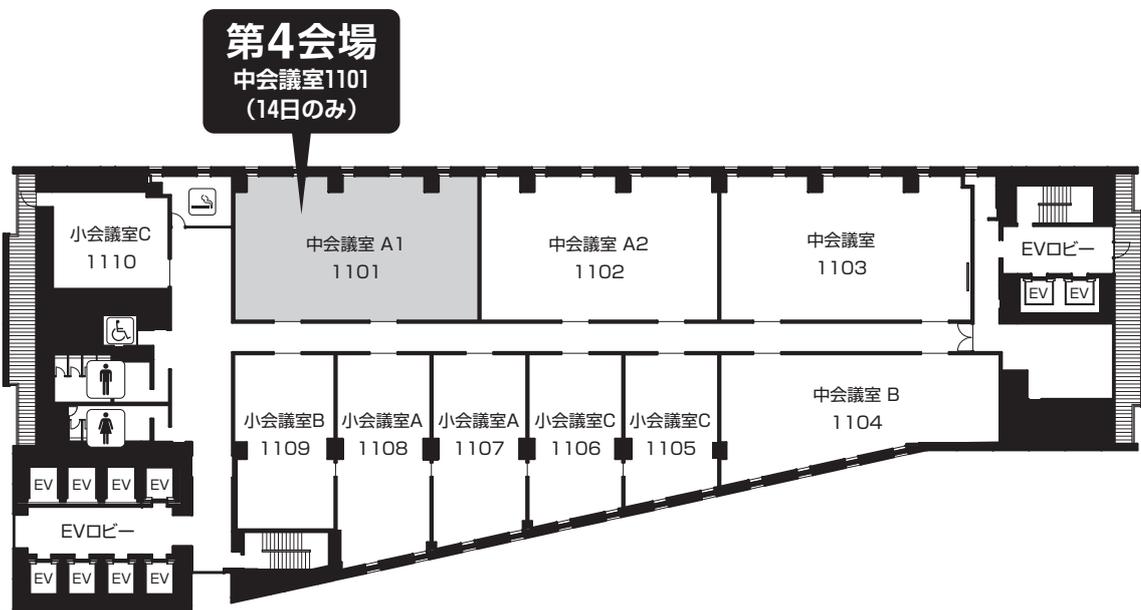
会場案内



10F



11F



参加者へのご案内

1. 事前参加登録をされた方へ

大会前に参加証(名札・参加証明書・領収書)を郵送いたします。

ご自身のお名前、ご所属を記入の上、当日必ず会場にお持ちくださるようお願いいたします。

なお、会期中、会場内では、名札を必ず着用してください。

2. 当日参加申し込みの方へ

(1) 参加費 会 員：6,000円

非会員：7,000円(抄録集は別途)

なお、参加費の領収書は名札に添付されています領収書をご利用ください。

《ご注意》ホームページより事前登録をしていただいた方で、入金締め切り日時までに参加費の振り込みがなかった場合は、当日参加扱いとなり、参加費の差額が発生します。ご了承ください。

(2) 当日参加申し込みの受付の流れ

当日の受付に関しましては、大会ホームページにございます当日参加用の参加登録システムから登録をしていただき、控えメールを受付にてご提示ください。

確認できましたら参加証(名札・参加証明書・領収書)をお渡しさせていただきます。

名札にご自身のお名前、ご所属を記入いただき、会期中、会場内では、名札を必ず着用してください。

3. プログラム・抄録集

会員、及び事前参加登録をされた方には、事前に送付しておりますので、ご持参ください。

購入を希望される方には、1冊1,000円(税込み)で販売します。

4. 会場内でのご協力とお願い

(1) 発表者の許可なく、発表内容の撮影・録画・録音・SNSへの投稿は固く禁止いたします。

(2) 発表や講演中は、携帯電話やスマートフォン等のご使用はお控えください。またパソコンのご使用もお控えください。

5. 取得できる単位について

本大会では、下記の単位/ポイントが取得できるよう申請・準備中です。

詳しくは、大会HPをご確認ください。

- ・日本医師会産業医単位
- ・日本医師会生涯教育単位
- ・日本精神神経学会専門医単位
- ・日本臨床心理士資格認定協会ポイント
- ・日本作業療法士協会研修ポイント
- ・日本産業精神保健学会 産業精神保健専門職制度単位

6. 会場内設備について

(1) クローク

場 所：2F 大ホール ホワイエ

対応時間：4月13日(土) 8時30分～17時30分

4月14日(日) 8時30分～15時30分

※手荷物、コート類などをお預かりしますが、貴重品、壊れ物、食品類などはお預かりできません。

(2) 呼び出し業務

原則として、お呼び出しは行っておりません。

(3) 紛失物に関して

会期中のお忘れ物や落とし物につきましては、大ホール1F ロビー総合案内にて保管しております。

(4) 託児室

ご用意がございません。予め、ご了承ください。

(5) 喫煙スペース

敷地内にはございません。

(6) 駐車場について

車でお越しの方は、会場周辺の駐車場をご利用ください。

7. ランチョンセミナー整理券配布について

ランチョンセミナーは整理券制です。

当日分のみ、お一人1枚、先着順で配布をいたします。

ランチョンセミナー会場へは、整理券をお持ちの方から優先的に入場いただけます。

場 所：2F 大ホール ホワイエ

時 間：4月13日(土) 8時30分～11時20分

4月14日(日) 8時30分～11時20分

※お弁当の数には限りがありますので、予めご了承ください。

※セミナー開始と同時に整理券は無効となりますのでご注意ください。

8. 第8回年次大会開催案内(予定)

第8回 日本うつ病リワーク協会 年次大会 長野大会

会 期：2025年4月26日(土)～27日(日)

会 場 名：まつもと市民芸術館(長野県松本市深志3-10-1)

大 会 長：鷲塚 伸介(信州大学 医学部 精神医学教室 教授)

発表者へのご案内

【ご注意ください】

本大会では、ZOOM等を用いたりリモート登壇のご準備はございません。すべての座長、演者の先生方におかれましては、必ず会場へお越しください。

1. 座長へのご案内

予めプログラム時間をご確認の上、設定された時間内で発表や討論が円滑に進行するようにご配慮をお願いいたします。

- (1) ご担当されるセッションの開始10分前までに、会場の次演者席へお越しください。
- (2) 各会場には進行係がおり、各演者の発表時間や討論時間を計測しています。持ち時間が経過した場合は計時回線の表示灯にてお知らせしますので、ご協力をお願いします。

2. 発表者へのご案内

発表は全てパソコンによるプレゼンテーションとなります。

ご発表データは、PowerPointで編集してください。

ご発表されるセッションの開始10分前までに、会場の前方の次演者席へお越しください。

各セッションの発表および質疑の時間は、次のとおりです。

プログラム	発表	質疑
シンポジウム	事前にご案内している通り	事前にご案内している通り
一般演題	10分	5分

(1) 倫理的配慮について

世界医師会によるヘルシンキ宣言(その改訂版を含む)、及び日本精神神経学会の「臨床における倫理綱領」(精神神経学雑誌: 99, 525-531, 1997)等に記載された倫理規約に即し、発表にあたっては十分なインフォームド・コンセントを得て、プライバシーに関する守秘義務を遵守し、匿名性の保持に十分な配慮をしてください。

臨床研究であって研究対象者がある場合には、ご所属先の倫理審査委員会がある場合は審査を受けて承認されたことや、対象者に対して文書等で説明・同意を得たことを表示してください。なおCOI(利益相反)に関しても、日本精神神経学会の指針に従うようにお願いします。

(2) 発表データの作成について

① 学術集会で用意するPCの仕様は以下のとおりです。

OS: Windows10

アプリケーション: Power Point for Microsoft 365

② OS標準フォントをご使用ください。

③ 動画を使用の場合はWindows Media Playerで再生可能な動画をご用意ください。

動画ファイルはmp4、wmv形式を推奨します。

④ 保存したデータは事前にウイルスチェックを行っていただきますようお願いいたします。

合わせて、トラブルに備え、ファイルのバックアップのご準備もお願いします。

⑤ 発表データ提出

データ名は、演題番号_演者名としてください。

(例) O1-1_リワーク太郎

⑥ 映像映写時の画角サイズは16:9です。

(3) データ提出について

当日データ提出のかたちになります。発表データはUSBメモリーに保存し、3F 大ホールホワイエ〔PC受付〕にお持ちください。お持ち込みの最終締め切りは、登壇の30分前までです。お預かりしたデータにつきましては、大会終了後に責任をもって消去します。

【動画のある方と Mac の場合】

- 動画のある方と Mac の場合は必ずご自身の PC をお持ちください。
- 会場内のスクリーンへ投影のために、外部ディスプレイ出力端子を装備している PC を使用してください。会場に設置の液晶プロジェクターへの接続は標準的な Mini D-Sub 15pin と HDMI です。それ以外のインターフェイスを装備している場合は、必ず各自で変換アダプターを持参してください。
- 電源アダプターを必ず持参してください。
- 不測の事態に備え、プレゼンテーション用データファイルでのバックアップを USB メモリーで持参してください。
- iPad や Surface、その他タブレット端末については、動作の保証は出来かねます。
- スクリーンセーバーの不起動、スリープ防止、自動電源オフ解除等を確認してください。
- 発表終了後、会場内オペレーター席にて PC をご返却いたします。

(4) 本大会に「演者・座長受付」はございません。演者の方は PC 受付を登壇30分前までに通過いただくようお願いいたします。

セッション開始10分前までに、各講演会場にお集まりください。

(5) 発表について

- 演台にはノートパソコンを用意しています。発表者ご自身での操作をお願いします。各会場には進行係がおり、各演者の発表時間や討論時間を計測しています。持ち時間が経過した場合は計時回線の表示灯にてお知らせしますので、ご協力をお願いします。
- 発表者ツールはご使用できません。

医CC1(1) 日本医師会生涯教育講座単位 (カリキュラムコード、単位数)

産(1) 認定産業医単位 (生涯：専門) (括弧内は単位数)

精 日本精神神経学会単位

1日目 2024年4月13日土

	第1会場 2・3F 大ホール	第2会場 5F 小ホール 1	第3会場 5F 小ホール 2	第4会場 10F 会議室1003
8:30	8:30~ 受付開始			
9:00				
	9:15~9:30 開会式			
10:00	9:30~10:15 招待講演 経営雑感 座長：舟橋 利彦 演者：加藤 宣明	9:30~11:30 医CC5(2)産(2)精 シンポジウム 1 リワークを活用する際の 問題点 ~中小企業の立 場から~ 座長：七浦 広志 シンポジスト：馬淵 青陽 水口 要平 七浦 広志	9:30~11:30 シンポジウム 4-1 各リワークのプログラム 紹介(プログラム実施まで のプロセスと工夫) 司会進行：櫻井 房枝 シンポジスト： 小泉 恭子 松田 匡弘 清水 陽平 指定討論者：岡崎 渉	9:30~11:30 編集情報 委員会企画 シンポジウム リワーク活動の 広報について 座長：高尾 哲也 演者： 五十嵐 良雄 請川 良 上田 直輝 加兒 雄哉
11:00	10:30~11:30 精 教育講演 1 うつ病の事例性について 座長：舟橋 利彦 演者：松田 ひろし			
12:00	11:50~12:50 ランチョンセミナー 1 双極性障害患者の就労支援 座長：舟橋 利彦 演者：井上 幸紀 共催：住友ファーマ株式会社	11:50~12:50 ランチョンセミナー 2 うつ病における復職時評価と復職継続 座長：岡 敬 演者：堀 輝 共催：大塚製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ部	11:50~12:50 ランチョンセミナー 3 時代に合った睡眠薬の 適正使用について 座長：池田 匡志 演者：垣田 泰宏 共催：エーザイ株式会社	
13:00	13:00~15:00 医CC5(2)産(2)精 シンポジウム 2-1 企業が求めるリワークの在り方 13:00~14:00 講演 演者：古井 景 14:00~15:00 指定討論 座長・ファシリテーター：舟橋 利彦 討論者：畑中 三千代 水島 秀聡 大井 良子 コメンテーター：古井 景	13:00~14:00 精 教育講演 2 リワークと認知行動療法 ~リワークに求められる認知 行動療法のエッセンスとは~ 座長：横山 太範 演者：菊地 俊暁	13:00~14:00 共催セミナー 1 リワークにおけるADHD ~薬物療法と心理社会的治療 座長：平野 千晶 演者：大橋 昌資 共催：武田薬品工業株式会社	13:00~15:00 地域連携委員会 企画シンポジウム 医療リワーク地域 連携の実際と課題 アンケート調査を踏まえて 座長：森田 哲也 演者：長井 景子 小林 真実 五十嵐 良雄 平井 園恵
14:00		14:10~16:10 精 シンポジウム 3 意図的にマインドフルネ スを提供する ~医療的 効果と安全性の観点から~ 座長：大橋 昌資 シンポジスト： 清瀬 千彰 緑川 綾 岩井 祐介	14:10~15:10 一般演題 1 リワークプログラム 座長：関谷 道晴	
15:00	15:10~16:10 シンポジウム2-2 医療リワークの経営者が考える リワークの在り方 座長：舟橋 利彦、有馬 秀晃 シンポジスト：横山 太範、佐々木 一 鷲塚 伸介		15:15~16:15 一般演題 2 役割(スタッフの役割・ リワークの役割) 座長：森脇 正詞	15:10~17:10 集団精神療法 ワークショップ 集団精神療 法の学び方 ~その視点を 持つために~ 座長： 荒木 章太郎 事前申し込み
16:00	16:20~17:20 精 特別講演 最新エビデンスを基盤とした 復職支援の実際 座長：佐久間 啓 演者：岩田 伸生	主催：ルーセント メンタルヘルス マネジメント(LMM)		
17:00	17:30~18:00 評議員総会、理事会	17:30~19:00 LMM企業シンポジウム 医療リワークは社員の職場 復帰準備性確認に有益か? ~企業アンケート結果から~ 座長：柴田 恵理子 発表：田淵 順 浅利 邦江 内山 友愛	17:30~19:00 シンポジウム4-2 医療リワーク・スタッフ 座談会 座長：櫻井 房枝	
18:00				
19:00				

医CC1(1) 日本医師会生涯教育講座単位 (カリキュラムコード、単位数)

産(1) 認定産業医単位 (生涯：専門) (括弧内は単位数)

精 日本精神神経学会単位

2日目 2024年4月14日

	第1会場 2・3F 大ホール	第2会場 5F 小ホール 1	第3会場 5F 小ホール 2	第4会場 11F 会議室1101
8:30	8:30~ 受付開始			
9:00				
10:00	9:30~11:30 医CC70(2)産(2)精 教育講演 3 就業における睡眠と体内リズム 9:30~10:30 講演 演者：北島 剛司 10:30~11:30 事例発表 座長：中島 公博 発表者：櫻井 房枝 小山 雅子 片岡 幸菜 コメンテーター：北島 剛司	9:30~11:30 医CC6(2)産(2)精 シンポジウム 5 企業が行う職場復帰プログラム(仕組み)とリワークの連携 座長：七浦 広志 シンポジスト： 七浦 広志 斉藤 政彦 杉本 和夫	9:20~10:20 一般演題 3 リワークの構成・環境 座長：高尾 哲也	9:30~11:30 研修委員会企画 シンポジウム リワーク 認定スタッフ [認定・専門・指導] 懇話会 座長： 大橋 昌資 演者： 前田 エミ 清水 陽平
11:00			10:30~11:30 共催セミナー 2 うつ病における 認知機能障害と対応 座長：横山 太範 演者：住吉 太幹 共催：武田薬品工業株式会社/ ルンドベック・ジャパン株式会社	
12:00	11:40~12:40 ランチョンセミナー 4 医師と患者はどのようにすれば TheyではなくWeになれるのか: Shared Decision Makingのあり方を考える 座長：三村 将 演者：菊地 俊暁 共催：田辺三菱製薬株式会社/吉富薬品株式会社	11:40~12:40 ランチョンセミナー 5 うつ病リワークを単なる 機能回復訓練にしないために 患者の人間性の回復に向けて 座長：舟橋 利彦 演者：松原 六郎 共催：ヴィアトリス製薬株式会社	11:40~12:40 ランチョンセミナー 6 社会復帰に向けたメンタルヘルスの改善における栄養の重要性 座長：山田 和夫 演者：木村 竹男 共催：Meiji Seika ファルマ株式会社	
13:00	12:50~13:50 協会講演 医療リワークとは何か? リワークのバリエーションが増える今、 医療リワークの意義を再考する 座長：中島 公博 演者：佐々木 一	13:00~15:00 医CC4(2)産(2)精 シンポジウム 6 復職受け入れの際の産業医として留意していること・リワークに期待すること 座長：古井 景 シンポジスト：坂野 敦美 上原 正道 鶴田 光敏	12:50~13:50 共催セミナー 3 AI時代の精神科医療の展望 座長：佐久間 啓 演者：岸本 泰士郎 共催：持田製薬株式会社/ 田辺三菱製薬株式会社	13:00~15:00 施設認定委員会企画 シンポジウム 施設認定で重要視される 集団プログラムの運営について 司会・講師： 横山 太範 シンポジスト： 大磯 宏昭 高谷 広美 神崎 順次
14:00	14:00~15:00 精 教育講演 4 パーソナル・リカバリーを目指す 医療リワーク 座長：舟橋 利彦 演者：藤井 千代		14:00~15:15 一般演題 4 復職評価・判断・効果 座長：有馬 秀晃	
15:00	15:20~15:30 閉会式			
16:00				
17:00				

プログラム

1日目 4月13日(土)

9:15～9:30

開会式

第1会場(2F 大ホール)

大会長挨拶

大会長：舟橋 利彦(医療法人明心会 ルーセントジェイズクリニック)

9:30～10:15

招待講演

第1会場(2F 大ホール)

座長：舟橋 利彦(医療法人明心会 ルーセントジェイズクリニック)

経営雑感

加藤 宣明 愛知県経営者協会

9:30～11:30

シンポジウム1

医 CC5(2)

産(2)

精

第2会場(5F 小ホール1)

座長：七浦 広志(トヨタ自動車株式会社 安全健康推進部)

[リワークを活用する際の問題点 ～中小企業の立場から～]

中小企業がリワークを利用する際の課題

○馬淵 青陽

株式会社中部労働衛生コンサルタント事務所

嘱託産業医によるリワーク支援の実務と限界

○水口 要平

株式会社とうかい産業医オフィス

中小企業におけるリワークの活用

—大企業との違い—

○七浦 広志

トヨタ自動車 統括産業医 安全健康推進部

医 CC1(1)	日本医師会生涯教育講座単位(カリキュラムコード、単位数)
産(1)	認定産業医単位(生涯:専門)(括弧内は単位数)
精	日本精神神経学会単位

9:30~11:30

シンポジウム4-1

第3会場(5F 小ホール2)

司会進行: 櫻井 房枝(医療法人明心会 ルーセントジェイズクリニック)

[各リワークのプログラム紹介(プログラム実施までのプロセスと工夫)]

プログラムの紹介

ープログラム実施までのプロセスと工夫ー

- 小泉 恭子
杏和会阪南病院

京都駅前メンタルクリニックでのプログラム改編

- 松田 匡弘
京都駅前メンタルクリニック バックアップセンター・きょうと、宇治おうばく病院 精神科 作業療法室

自己分析と復職直後の生活を結び付けるプログラムの取り組み

- 清水 陽平
医療法人社団 五稜会病院

指定討論者: 岡崎 渉(NTT 東日本関東病院 精神神経科)

9:30~11:30

編集情報委員会企画シンポジウム

第4会場(10F 会議室1003)

座長: 高尾 哲也(医療法人イブシロン)

[リワーク活動の広報について]

医療リワークの現状: 会員施設訪問を通じて

- 五十嵐 良雄
メディカルケア虎ノ門/大手町

見てもらえる医療系ホームページを作るポイント

- 請川 良
株式会社セサミーシール

当院のリワーク活用 Book について

- 上田 直輝
医療法人知音会 杉本医院からすまメンタルクリニック リワークからすま

水戸メンタルクリニックのリワーク集客と地域のリワーク集客のこれから

- 加兒 雄哉
医療法人イブシロン 広報・業務推進部

座長：舟橋 利彦(医療法人明心会 ルーセントジェイズクリニック)

うつ病の事例性について

松田 ひろし 特定医療法人財団立川メディカルセンター 柏崎厚生病院

座長：舟橋 利彦(医療法人明心会 ルーセントジェイズクリニック)

双極性障害患者の就労支援

井上 幸紀 大阪公立大学大学院 医学研究科 神経精神医学

共催：住友ファーマ株式会社

座長：岡 敬(医療法人十全会 十全病院、医療法人十全会 Jクリニック)

うつ病における復職時評価と復職継続

堀 輝 福岡大学 医学部 精神医学教室

共催：大塚製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ部

座長：池田 匡志(名古屋大学大学院 医学系研究科 精神医学)

時代に合った睡眠薬の適正使用について

垣田 泰宏 医療法人成精会 刈谷病院

共催：エーザイ株式会社

座長/ファシリテーター：舟橋 利彦(医療法人明心会 ルーセントジェイズクリニック)

コメンテーター：古井 景(ルーセントメンタルヘルスマネジメント)

[大会テーマ：企業が求めるリワークの在り方]

講演

企業が求めるリワークの在り方

○古井 景¹⁾、畑中 三千代²⁾、水島 秀聡³⁾、大井 良子⁴⁾

1)ルーセントメンタルヘルスマネジメント、

2)日本たばこ産業株式会社 Country People & Culture 中日本地域保健担当、

3)小島プレス工業株式会社 安全健康環境部 健康推進課、4)シミズ工業株式会社 総務人事課

指定討論

畑中 三千代 日本たばこ産業株式会社 Country People & Culture 中日本地域保健担当

水島 秀聡 小島プレス工業株式会社 安全健康環境部 健康推進課

大井 良子 シミズ工業株式会社 総務人事課

座長：横山 太範(さっぽろ駅前クリニック 北海道リワークプラザ)

リワークと認知行動療法

～リワークに求められる認知行動療法のエッセンスとは～

菊地 俊暁 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

座長：平野 千晶(刈谷病院)

リワークにおける ADHD ～薬物療法と心理社会的治療

大橋 昌資 医療法人啓夏会 響ストレスケア ～こころとからだの診療所

共催：武田薬品工業株式会社

[医療リワーク地域連携の実際と課題 アンケート調査を踏まえて]

事業場産業保健スタッフの医療リワークに対するニーズ調査結果と
それについての会員アンケート調査結果の報告○長井 景子¹⁾、○小林 真実²⁾

1)医療法人十全会 十全病院、2)公益財団法人 松原病院

医療リワークにおける事業所との連携に関する課題

○五十嵐 良雄

メディカルケア虎ノ門ノ大手町

当院における職場との連携 ～関係者との顔が見える取り組みについて～

○平井 園恵、高見 葉、山田 凌、吉本 大作

医療法人厚生会 福井厚生病院

[意図的にマインドフルネスを提供する ～医療的効果と安全性の観点から～]

医療リワークの安全性と効果を担保するために
～覚醒調整、神経認知機能、再トラウマ化予防の観点から～

○清瀬 千彰

医療法人内海慈仁会 有馬病院

医療機関で8週間のマインドフルネスプログラムを提供する
～リワークとクリニックでの取り組み～

○緑川 綾

東邦大学 看護学部

病院でマインドフルネスを導入してみる

○岩井 祐介

医療法人杏和会 阪南病院 精神科

O-01 聞き取りに焦点化したプログラムによる自己内省への働きかけ

○矢野 佳苗、川崎 千晶、櫻井 房枝、高橋 綾子、足立 望、柴田 恵理子
医療法人明心会 ルーセントジェイズクリニック

O-02 健康管理プログラムの効果判定について

○吉永 由美
医療法人明心会 上豊田こころの絆クリニック

O-03 VCAT-J を用いた復職・就労に向けた取り組み

○増子 遥華¹⁾、長尾 俊宏¹⁾、齋藤 渚¹⁾、青山 顕匠¹⁾、赤瀬 瞳子¹⁾、金見 志穂¹⁾、
瀬崎 真也¹⁾、田中 麻里¹⁾、原 広一郎¹⁾²⁾
1)医療法人静和会 浅井病院 心理科、2)医療法人静和会 浅井病院 精神科

O-04 アクセプタンス&コミットメントセラピーを用いた集団プログラム導入の意義について

○柳澤 博紀、小出 知里、浅野 由美佳
医療法人桜桂会 犬山病院

[大会テーマ関連シンポジウム：医療リワークの経営者が考えるリワークの在り方]

討論者：横山 太範 さっぽろ駅前クリニック 北海道リワークプラザ
佐々木 一 医療法人社団爽風会
鷲塚 伸介 信州大学 医学部 精神医学教室

集団精神療法の学び方 ～その視点を持つために～

ト部 裕介 公立学校共済組合関東中央病院 メンタルヘルスセンター
二之宮 正人 医療法人社団翠会 八幡厚生病院

O-05 リワークセンター管理医の役割を模索する

○柴田 恵理子

医療法人明心会 ルーセントジェイズクリニック

O-06 医療リワークにおける看護師の役割・機能に関する全国調査○海保 知宏¹⁾²⁾、前田 隆光²⁾、松田 由美江²⁾、小林 宏美¹⁾²⁾、池内 綾香²⁾、林 弥生¹⁾

1) 東邦大学医療センター佐倉病院 看護部、

2) 東邦大学医療センター佐倉病院 産業精神保健・職場復帰支援センター

O-07 医療リワーク・患者・企業が連携して行う職場環境調整の利点と課題
—個別インタビューによる質的研究—○田中 佐千恵¹⁾、犬飼 希望²⁾、公家 龍之介³⁾、中野 未来³⁾、犬飼 清香²⁾、小林 正義¹⁾、
杉山 暢宏¹⁾⁴⁾、鷺塚 伸介⁴⁾

1) 信州大学 医学部 保健学科、2) 信州大学医学部附属病院 患者サポートセンター、

3) 信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部、4) 信州大学 医学部 精神医学教室

O-08 職場復帰時の利用者と職場とのギャップ

～系列病院内リワークプログラム利用者に対するアンケート調査から～

○吉越 淑子¹⁾、及川 絵子¹⁾、竹内 信治¹⁾、頓所 めぐ美²⁾、南出 歩美²⁾、井村 由紀子²⁾、
杉長 彬³⁾、宇佐美 慧³⁾、金子 力⁴⁾、貫井 侑⁴⁾、伊藤 友浩¹⁾

1) 医療法人社団ユアイエメリー会 すずのきメンタルケアクリニック、

2) 医療法人社団ユアイエメリー会 大宮すずのきクリニック、

3) 医療法人社団ユアイエメリー会 草加すずのきクリニック、

4) 医療法人社団ユアイエメリー会 新座すずのきクリニック

最新エビデンスを基盤とした復職支援の実際

岩田 伸生 藤田医科大学 精神神経科学講座

座長：柴田 恵理子(医療法人明心会 ルーセントジェイズクリニック)

医療リワークは社員の職場復帰準備性確認に有益か？
～企業アンケート結果から～

田渕 順 ルーセントメンタルヘルスマネジメント

浅利 邦江 ルーセントメンタルヘルスマネジメント

内山 友愛 ルーセントメンタルヘルスマネジメント

主催：ルーセントメンタルヘルスマネジメント(LMM)

座長：櫻井 房枝(医療法人明心会 ルーセントジェイズクリニック)

医療リワーク・スタッフ座談会

特別講演

4月13日(土) 16:20～17:20

第1会場(2F 大ホール)

最新エビデンスを基盤とした 復職支援の実際

岩田 仲生

藤田医科大学 精神神経科学講座

座長：佐久間 啓(社会医療法人 あさかホスピタル)

一般演題 1

4月13日(土) 14:10~15:10

第3会場(5F 小ホール2)

リワークプログラム

座長：関谷 道晴(養南病院)

第7回日本うつ病リワーク協会年次大会
プログラム・抄録集

発行日：2024年3月6日

運営事務局：株式会社コングレ 中部支社

〒461-0008 名古屋市東区武平町5-1

名古屋栄ビルディング7F

TEL：052-950-3430

E-mail：rework2024@congre.co.jp

大会事務局：医療法人 明心会

〒451-6003 愛知県名古屋市西区牛島町6-1

名古屋ルーセントタワー 3F

TEL：052-569-6606 FAX：052-569-6607

E-mail：rework-nagoya@jindai.or.jp

出版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<https://secand.jp/>